

わかれ雲 (1951)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 101分
初公開日 1951/11/23
公開情報 新東宝

【解説】

五所平之助が三年ぶりにメガホンをとった作品。脚本は五所と館岡謙之助、田中澄江による。俳優座や文学座など劇団の協力により製作されており、いわゆるスター俳優は出演していない。

農村を研究するため、五人の女子大学生が信州の町を訪れた。そのうちの一人、藤村真砂子が病気で倒れてしまう。軽い肺炎と診断された真砂子は、旅館に残り女中のおせんに看病してもらった。東京から真砂子の母の玉枝がやってくるが、真砂子はそんな母親に冷たく接するのだった。玉枝は真砂子の義理の母であり、真砂子は彼女に心を開いていなかった。だが真砂子はおせんや町医者 of 南、分教場の岡らと接するうち、自分のわがままで母親を傷つけていたことに気づく。

【クレジット】

監督 五所平之助
脚本 館岡謙之助
五所平之助
田中澄江
撮影 三浦光雄
出演 沢村契恵子 藤村真砂子
大塚道子 澤タミ子
岩崎加根子 山下茂子
宮崎恭子 仲田久子
関弘子 三木芳子
川崎弘子 おせん
沼田曜一 南猛
三津田健 藤村良平
福田妙子 藤村玉枝
中村是好 山田屋の主人
岡村文子 おとき
倉田マユミ とし枝
谷間小百合 女中お清